

青い波北陽台

Give it your all

教頭 濱栗 啓吾

先日列車を待っていた時のこと。目の前にあった自動販売機を何気なく眺めていると、押しボタン部分にあるLEDの点滅が気になり始めた。何かしら規則的に点滅しているのは周知のことと思うが、何となく心地よさを感じたからか、いつもなら特に気につけない「自販機の点滅」の規則性を見出そうと観察していた（商品は3列に配置されてある）：

（全列左半分の商品ボタン）×3 → （同右半分の商品ボタン）×3 → （上一列）×2 → （下一列）×2 → （中一列）×2 → 全ボタン×1 **三三七拍子**（実は4拍子）！

この自動販売機は販売を促進するため、利用するかもしれない通りすがりの人に対して、音もなく、日本人に最も馴染みがあると言っていいリズムを模した光の点滅でその存在を主張しているのだ。受け取り方は様々であろうが、「応援してくれている」とも取れる。そう考えると悪い気はしない。特定の誰かに対してでもなくそこに一日中立って周囲に人がいないときでも応援し続けている、そんな自販機が何だか律儀で愛おしく思えた。

三三七拍子の始まりは今からおよそ100年前にまで遡る。Wikipediaによると、当時発足した「明治大学応援團」初代団長が創作した応援形式で、相撲の不知火型を取り入れたのが原型とされるとのこと（セリフがついているらしい）。以来、そのシンプルさ故か極めて汎用性が高い応援の形式として様々な場面で用いられており、凄い発明品と言っていいだろう。「プロ野球日本シリーズ」では、声を張り上げての応援が禁止されている中で、やはり高い頻度で観客が手拍子による三三七拍子にそれぞれの思いを乗せて応援していた。

さて、長崎北陽台高校の生徒諸君においては、2年生が12月8日に「健脚くらべ」、3年生が1月15・16日に「大学入学共通テスト」、放送部が、12月11日に「全九州高等学校総合文化祭」に、さらにラグビー部が12月27日から「全国高等学校ラグビーフットボール大会」、とそれぞれの「大舞台」に挑む。「挑む」みなさんが誇らしく、心より応援している。しかし、みなさんがチームとして、そして一人一人の目標達成のために今精一杯頑張っている限りにおいて「頑張れ」はそぐわないかなと個人的には思う。むしろ相手の置かれている状況や心理的状态を少し考慮して声をかけるようにするとより効果的だろう。みなさんに贈りたい言葉は**“Give it your all”**、「自分の実力をすべて出し切って」という表現だ。勝負の日に向けてコツコツ準備を積み重ねてきた人を励ますのに適している。どうか皆さんは周囲の「応援」を「出し切る」べき力として変えて蓄積し、「その日」に備えてほしい。あの健気な自販機のように、三三七拍子に乗せて“Give it your all”を心より贈り続ける。

令和3年度後期生徒総会

11月4日(木)に実施した『令和3年度後期生徒総会』では、Teamsを利用して、今年度の前期活動報告をはじめ、後期の活動予定、各専門委員長による所信表明などを実施しました。また、先日行ったアンケートで寄せられた生徒からの意見・要望に対する回答も行われました。

実際の討議はできませんでしたが、充実した内容だったと思います。次年度に向けて、今後ますます本校の生徒会活動が活性化していくことを期待します。



2年理数科中間発表会

11月9日(火)、理数科2年生による校内「課題研究」中間発表会を実施しました。

4月に数学・物理・化学・生物の4つの分野から1つのテーマを決め、今まで研究してきた成果を発表しました。発表後には、「数学・物理」分野は、長崎大学工学部の田中俊幸教授、「化学」分野は、長崎大学工学部の山田博俊准教授、「生物」分野は、長崎大学水産学部の菅向志郎教授からそれぞれ指導助言・アドバイスを受け、次年度の本発表会に向けて更なる研究の深化を図る端緒となりました。

2年生総合的な探究の時間、中間発表会

11月16日(火)、2年生の総合的な探究の時間の中間発表会を行いました。長与町役場から吉田町長をはじめ約20名の方に来校していただき、生徒たちの発表に対して様々なアドバイスをいただきました。

長与オリーブ、みかんの認知度アップや商品開発を行う発表をした班は高評価をいただきました。3月の本発表会にむけて、さらに探究活動に取り組んでいきます。

ラグビー部県大会優勝・全国大会出場

第101回全国高等学校ラグビーフットボール長崎県大会の決勝戦が、11月23日(火)にかきどまり陸上競技場にて開催されました。28-15で長崎北高校に勝利し、4年連続20回目の優勝をすることができました。12月27日(月)から開催される全国大会(花園大会)へ出場します。

『本山泰士主将のコメント』

先日は、会場へ足を運んでくださった皆様、テレビの前で応援してくださった皆様、応援ありがとうございました。試合展開は厳しくなりましたが、皆様の応援で苦しい時も我慢することができました。幸いに花園への切符を掴むことができたので、今シーズンで出た課題を修正して年末の花園に挑みたいと思います。引き続き応援を宜しくお願いします。



2年生 修学旅行

日程：令和3年12月13日(月)～12月16日(木) 3泊4日
目的地：島根県(出雲大社・松江城・足立美術館) 鳥取県(鳥取砂丘)
岡山市内/高松市内(班別自主研修) 岡山県倉敷市(班別自主研修)
学年主任より：42回生、初めての宿泊研修です。感染対策を忘れずに山陰・瀬戸内を楽しめます。

防寒具について

今年度、生徒総会での要望を受けて、防寒具の規定を変更しています。
コート：色、白の追加、 タイツ：色、黒の追加 靴下：ワンポイントの追加。
セーター：色、白の追加、クルーネック(丸首)の追加。袖や裾から見えないように着用する。
マフラー・ひざ掛け：色は白の追加、柄は華美でないものを使用し、ベースの色にチェック柄は可とする。
詳細は教室掲示プリント及び保護者宛てメールメイト(11月19日配信)に記しています。

文化部・運動部、九州大会出場

10月の新人戦等の大会を勝ち抜き、文化部、運動部の生徒が九州大会進出を果たしました。
弓道部女子、テニス部男子、テニス部女子、卓球部男子、数理解科学部、放送部、生物部です。なお、放送部、生物部は全国大会出場も決定しています。
どの部活動も、新チームになっても成果を出しています。詳しい成績は、本校HPをご覧ください。

12月の主な予定

- 1日(水)～3日(金) 1・2年生理数科研修旅行
- 4日(土) 土曜自学(3年) G-TEC(1・2年)
- 6日(月) 1・2年難関講座開始
- 8日(水) 健脚くらべ(雨天時は、10日(金))
- 11日(土) 土曜自学(3年)
- 13日(月)～16日(木) 2年生修学旅行
- 18日(土) 校外マーク模試(3年) 県下一斉実力テスト(1・2年)
- 19日(日) 校外マーク模試(3年)
- 20日(月) 特別時間割 午後演習等&三者面談
- 23日(木) 特別時間割 午後演習等&三者面談
- 24日(金) 終業式
- 25日(土) 27日(月) 28日(火) 冬季自学(全学年)
- 27日(月) 全国高校ラグビー大会開幕(本校の試合日時等は12月4日に判明)
- 29日(水) プレテスト(3年)
- 30日(木) プレテスト(3年)



各学年より

「残り4カ月」

1学年主任 林 圭介

2学期期末試験が終了し、1年生としての時間もあと4カ月となりました。君たちは、今までの学校生活を振り返ってみて、どのような感想を持つでしょうか。

学校行事においては、新型コロナの予防・対策で、様々な活動がままならないところもありましたが、今後予定されている「健脚くらべ」や「百人一首大会」にも積極的に取り組んでください。

さて、12月6日から「難関講座」が始まります。講座に参加する人もしない人も、1年生の12月から、このような講座が実施されることの意義を考えてみてください。それは、1年生のこの時期から、ある程度の実践とそれに伴う意識の高揚が求められているということです。これは難関大学を志望している者だけでなく、すべての者に言えることだと思います。君たちには、「難関講座」の開始をきっかけに、まだまだ自分は受験生ではないと考えるのではなく、これから多くのことを吸収していかなければならない受験生の1人なのだと考えて、学習にも向かってほしいと思います。

「グローバル講話を終えて」

2学年主任 下村かおり

修学旅行の翌日に、外国と教室をオンラインで繋ぐ「SDGsバーチャルキャンプ」を予定しています。その事前学習として、先日、外部講師を迎えてグローバル講話を行いました。日本の現状、世界との関わり、今後の世界情勢など興味深い内容でした。SDGsは2030年までに達成すべき目標ですが、講師の方が所属されている会社では、全国から集められた数名から成るプロジェクトチームで「2030年以降の自社をどうするか」について研究が進められているそうです。現在の業務継続だけでは今後の発展は望めない、とのスタンスで臨まれているそうです。目先のすべき事に真摯に取り組むことは勿論ですが、今後の自分の針路をどこに向けるのか、その着地点を想定することの意義を再確認させられた一時間でした。

講話後にはバーチャルキャンプへの期待も含めて、4組の岩坪立君が自分の想いや御礼を堂々と述べてくれました。今後、42回生が如何に視野を広く持って自分の将来像を描いていくのか楽しみです。

「試験本番に向けての準備を」

3学年主任 守 慶直

一週間ほど前から寒さが強まってきましたね。冬が近づいています。ということは共通テストも近づいています。その共通テストに向けての模試が年末年始にかけてあと3回実施されますが、11月に実施された模試も含めて結果に一喜一憂するのではなく、自分の弱点克服につなげてください。他にも、持ち物の準備、時間配分やマークの仕方、丁寧な自己採点など、気をつけることがたくさんありますよね。今は、良い意味でマーク形式のテストに慣れて、本番でこれまで培ってきた力を最大限に発揮するための準備期間です。思うように点数が伸びず弱気になっている人もいるかもしれませんが、踏ん張りどころです。残された日々を大切に、隙間時間等も有効に活用して、最後まで諦めずに頑張ってください。コロナも一時期に比べて収まってきてはいますが、インフルエンザと合わせて油断せず、予防に努めましょう。